

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-219	小学校	生活	生活	1・2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4・大日本	生活・119 120	新版 たのしいせいかつ 上 だいすき 下 ひろがれ		

I 編修基本方針

「学ぶたのしさ」「わかるよろこび」をすべての子どもたちに

- 子どもの心に働きかけ、子どもが自ら動き出す。そんな生活科授業をサポートする教科書です。「たのしい」からこそ夢中になれる。夢中になるからこそ発見がある。自分で考えて、友達と協力して、自らの力でたどり着くからこそ子ども自身の力になる。生活科の学びを通して豊かな心・人間性を育み、これからの社会を生き抜く力を育てます。

Point

1

子どもの思いに寄り添い、 具体的な活動が生まれる教科書

具体的な活動や体験を重視する生活科だからこそ、子どもの興味や関心を引き出す、活動への意欲を育む、そのための工夫のつまった教科書です。子ども一人ひとりが主体的に活動に取り組むことができるよう工夫しています。



Point

2

豊富な資料で子どもの学びを支える教科書

子どもの主体的な学びを支えるために豊富な資料を準備しています。資料「がくしゅうどうぐばこ」をウェブにも広げ、豊富な資料で生活科の学びを支えます。紙面上に必要なに応じて二次元コードを配し、必要な資料を掲載しています。

Point

3

子どもにも先生にも生活科の学びが見える教科書

生活科の学び方を示すことで、育成すべき資質・能力が見えてきます。また、ICTを活用した活動場面を示すことで、これからの生活科の新しい授業づくりがわかります。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につながります。



Point

1

子どもの思いに寄り添い、具体的な活動が生まれる教科書

① 子どもの心に働きかける紙面表現を工夫しています。

子どもの目線に立ったダイナミックで躍動感のある活動写真やイラストで、子どもの興味・関心を刺激し、実際の活動への意欲や期待を引き出します。



▲上p.50~51 「すごい!」「おもしろそう」子どもの驚きや感動、自分もやってみたいという思いを引き出します。



▲上p.38~39 実物大で示したアサガオの成長の様子です。自分のアサガオと比べて、子どもの観察の視点が広がります。



見て終わりではなく、見ることで自分もやってみたいくなる、探してみたいくなる、子どもの活動を引き出す動画を活用し（二次元コードより見ることができる）、子どもの心により働きかけます。

② 子どもの意欲をさらに引き出し、活動の視点を示唆する表現としてビンゴカードを活用しています。



▲上p.86~87



▼下p.42~43

ビンゴカード風のデザインを工夫し、子どもが何をみつければよいのか、そのヒントを示しています。



下カード▶

切り取って、すぐに使えるビンゴカードです。

ビンゴゲームとして子どもの意欲を高める効果があります。ただし、これを見つければ終わりではなく、諸感覚の活用を示唆することで、子どもの多様な活動につながります。

／ A4判になってよりダイナミックに! ／

「何だろう?」「面白そう」「私もやってみたい」そんな子どものわくわく・どきどきこそ、子どもの活動の原動力です。大きくなった紙面により子どもの心に残る、よりインパクトのある表現が可能になりました。同時に、ページ数の削減を図ることで、子どもの負担に配慮しています。

豊富な資料で子どもの学びを支える教科書

1 豊富な資料で子どもの学びをサポートします。

子どもにとっての初めての図鑑として、資料「がくしゅうどうぐばこ」を準備しています。具体的な活動を重視し、上下巻に「学び方名人」を新設しました。さらに、「Webがくしゅうどうぐばこ」として、見つけた生き物や草花の名前など、子どもたちが調べるための資料が充実しています。



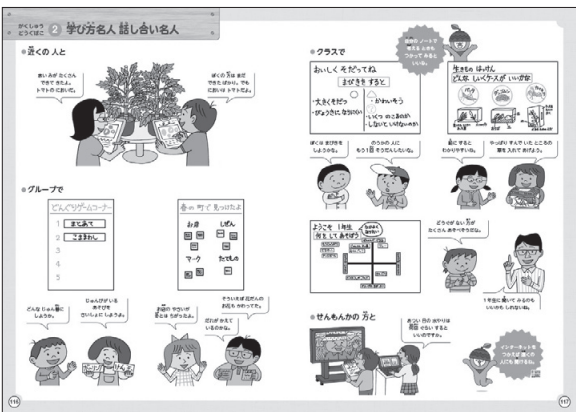
▲上p.40~41

▼下p.116~117



子どもに感動や不思議さを感じてほしい、葉っぱの切り絵作品で子どもの感性に働きかけます。

▲下p.114~115



新設した「学び方名人」。生活科の活動に沿って、必要な資質・能力の育成を図ります。



資料を参照してほしい場面に二次元コードを示しています。



子どもが自ら調べるための資料をウェブ上に掲載しています。

2 個別学習にも全体学習にも対応しています。

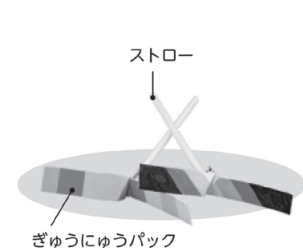
一斉に見て確認する必要がある約束事は紙面上にわかりやすく示すとともに、二次元コードから動きのあるスライドとして、クラス全体で見て、確認することができるようになっています。また、ものの作り方など、イラストだけではわかりにくい部分は、作り方の動画を見ることができ、子ども一人ひとりの学習状況に応じ、参考にすることができます。



安全に関する約束や、人との関わり方のマナーなど、「やくそく」としてわかりやすく示しています。

▲上p.27

●ぴゅんぴゅん竹とんぼ



▲下p.91

作り方の手順をわかりやすく示しています。

3

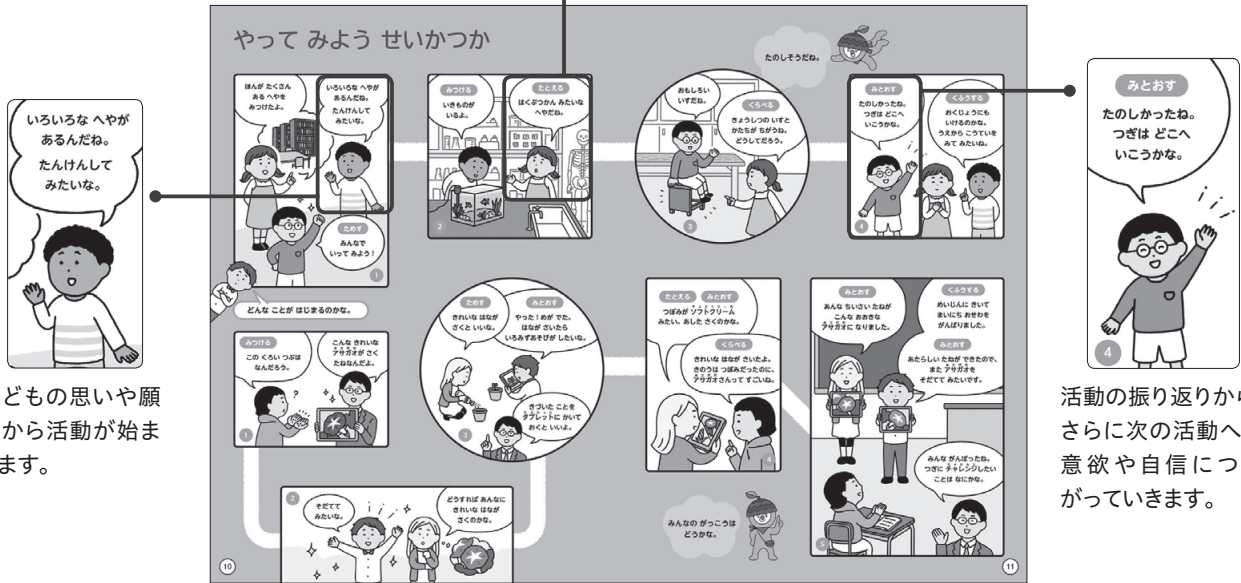
子どもにも先生にも生活科の学びが見える教科書

① 生活科の学び方を示しています。

あくまでも活動を絞ることなく、子どもの思いや願いをもとに活動が始まり、多様な学習活動を展開しながら生活科授業が進み、広がっていく、その流れを示しています。子どもが実際の活動に期待をもち、先生は授業の見通しをもつことが可能です。



多様な学習活動の
例を示しています。



子どもの思いや願いから活動が始まります。

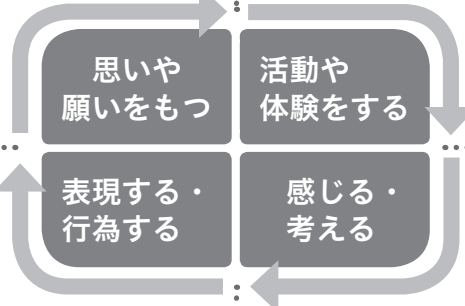
▲上p.10~11

② ICTの活用が効果的な活動場面を示すことで、新しい生活科の授業づくりを支援します。

1人1台端末に対応し、生活科授業のどこでどう使えばよいのかがわかります。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につながります。



町探検で出会った人を撮影しておく。



デジタル情報を活用して発表する。



自ら撮ったアサガオの記録を見て、客観的に振り返る。

Ⅱ 対照表

教育基本法の理念に沿って、真理を追求し、豊かな人間性と創造性を身に付けることができるように、次のような点に配慮して教科書を編修しています。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
季節の流れに沿った大単元構成	● ページが進むことで季節が進んでいく、子どもの意識に沿って無理なく季節と活動を結び付けることができるようにしました。(第四号)	全体
生き生きとした活動場面の写真	● 子どもの目線に立った、リアルで生き生きとした活動写真で、子どもの興味・関心を刺激し、思いや願いを引き出し、主体的な活動が実現できるようにしました。(第二号)	全体
子どもの生活圏にある学習対象の例示	● 身近な人々、社会及び自然を学習の対象とすることで、生活科の見方・考え方を生かした学びを展開することができるようにしました。(第一号)	全体
諸感覚の活用を促す紙面表現やピンゴカードを使った活動の例示	● 諸感覚を活用して自然と触れ合うことで、自然の不思議さや面白さに気付くとともに、環境にも目を向け、それを大切にしようとする心を育むことができるようにしました。(第四号)	上 p.86～87、 下 p.12～17ほか
継続的な飼育・栽培活動	● 継続的な飼育・栽培活動で、生命の尊さを実感できるようにしました。(第四号) ● 生き物とその環境のつながりを考える場面や、ごみの分別やリサイクルなど、環境に配慮し、資源を大切に使う視点を示しました。(第四号) ● 栽培活動では、自分たちで育てた野菜を味わう活動を位置付け、食について考えることを促しました。(第一号)	上 p.34～39、52 ～55.74～79ほか 下 p.32～39、44 ～51ほか
多様で豊富な資料「がくしゅうどうぐぼこ」	● 幅広い知識と教養を身に付けることができるよう、「がくしゅうどうぐぼこ」を設けました。(第一号) ● 日本の文化とともに、他国の文化にも関心がもてるようにしました。(第五号) ● 一日の生活リズムに目を向け、規則正しい生活を示すことで、基本的な生活習慣の確立、健康な心身を養えるよう配慮しました。(第一号)	上 p.130～137、 下 p.114～125ほか
学校、家庭、地域など様々な学習場面の設定	● 具体的な関わりを通して、挨拶やきまり、適切な言葉遣いなど、生活上必要な習慣や技能が身に付けられるようにしました。(第一号) ● 身近な地域で働いたり、生活したりしている人々に繰り返し関わり、そうした人々の思いにふれることを通して、その場所や人、役割に気付くとともに、地域のよさに気付き愛着をもてるようにしました。(第二、五号) ● 地域の人々との関わりから学んだことを、自分の生活や将来の夢、職業に結び付け、自立への基礎を養うことができるようにしました。(第二号)	上 p.23、27、 下 p.56～79ほか
伝え合い、交流する場面の適切な位置付け	● 友達との伝え合い、クラスでの話し合いの場を繰り返し取り上げ、個人の学びを集団で共有し、深め合うことができるようにしました。(第二号) ● 双方向の交流を意識し、人と交流することのよさや楽しさを味わうことができるようにしました。(第三号)	上 p.96～97、 下 p.102～103ほか
成長を振り返る活動	● 友達のよいところを認め合い、自分のよさを感じる場面を設定し、自他の敬愛と協力を重んじ、自分に自信をもって、将来への夢や希望をもつことができるようにしました。(第三号)	上 p.122～127、 下 p.94～97ほか
公共施設の利用	● 公共物や公共施設に目を向け、実際に利用したりすることで、正しく安全に、そして大切に利用できるように配慮しました。また、自分も社会の構成員であることに気付き、地域に対して発信、貢献する意欲がもてるよう配慮しました。(第三号)	上 p.46～49、 下 p.58～69ほか
おもちゃ作りの活動	● 子どもの感性を刺激し、自然の不思議さや面白さを実感できるような紙面、教材、活動を掲載しました。(第四号) ● おもちゃ作りの活動を通して、試行錯誤をしたり、新たな遊びを創り出す創造性を育む活動の流れを工夫しました。(第二号)	上 p.56～59、 下 p.80～91ほか
伝統・文化の紹介	● 地域の伝統や行事などを理解し、実際に参加したりして、地域に親しみや愛着をもち、積極的に関わろうとする態度が養えるよう配慮しました。(第三、五号) ● 季節の変化と自分の生活を結び付け、日本固有の風物詩や行事などに興味をもてるよう配慮しました。(第五号)	上 p.80～81、 104～105ほか
家族の扱いへの配慮	● 学校の様子を家庭で報告したり、家庭生活のなかで自分の役割について気付き、自分の役割を積極的に果たすことができるよう配慮しました。(第三号) ● 家庭のなかの様々な役割について、性別による固定的な考えをもつことがないよう、その例示に配慮しました。(第三号) ● 様々な家庭環境、家族構成に配慮し、画一的な家族の形の例示とならないよう配慮しました。(第三号)	上 p.31、114～ 119、下 p.7ほか
生活上必要な習慣や技能の習得	● 必要な道具を適切に使うことを意識しました。また、手や体全体を使った活動を意識し、活動に即して必要な習慣や技能が身に付くようにしました。(第一号)	上 p.136～137ほか
イラスト	● 紙面のなかで子どもの登場場面の数が男女平等になるよう配慮しました。(第三号) ● 幼児・高齢者・外国人・障がい者など、多様な人々と関わる例を取り上げました。(第二、五号)	全体

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-219	小学校	生活	生活	1・2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4・大日本	生活・119 120	新版 たのしいせいかつ 上 だいすき 下 ひろがれ		

I 編修上特に意を用いた点や特色

Point

1 子どもの思いに寄り添い、具体的な活動が生まれる教科書

▼上p.82~83

① 子どもの感性を刺激する紙面表現を工夫しています。

いろいろなものの見方や感じ方を投げかけ、子どもの自由な発想を引き出します。

「何がいるのかな？」このままではどこに何がいるのかわからない、紙面を拡大して探すことで、実際の虫探しを想起させます。

下p.33▶



あえてモノクロ写真を使用することで、色への視点を投げかけ、子どもの想像力をかき立てます。

② 書き込み欄を設け、子どもが自ら振り返り、自分の成長を実感することができます。

上p.54▶

自分の思いを文字にすることで、子どもは常に自分のめあてに立ち返ることができます。友達の考えと比べることで、交流が生まれます。活動を進めながら書き込みが増え、自分だけの教科書を作ることができます。



自分のやりたいことを文字で残すことで、意欲の継続を図ります。

◀上p.34



上巻末に1年間の振り返りと、2年生への期待を書くページを新設しました。

土の中のサツマイモの様子を想像させることで、変化が見えにくいこの時期の栽培活動の意欲を引き出します。



▲上p.127

③ 「きもちマーク」で入学直後の子どもにも無理のない振り返りが可能です。

子どもが活動を通しての満足度、心の動きを表現することができます。最初は選択制、その後は自分で描くようになっており、文章表現に支援が必要な子どもに配慮しています。描いた後の先生とのやり取りも示唆し、マークの具体的な活用方法を示しています。



▲上p.3



▲上p.17

Point

2

豊富な資料で子どもの学びを支える教科書

① 自分の身を守るための習慣や技能を身に付けることを目指しています。

交通安全、防犯、防災について「がくしゅうどうぐばこ」で取り上げています。また、熱中症や感染症への対策にも配慮しています。

▼上p.132~133



② 「せいかつことば」と「きらきらことば」で子どもの語彙力を向上させます。

言語能力の育成を図るとともに、人との関わりがより深まることを促すことばを紹介しています。

きらきらことば

友達とのスムーズな交流を支えます。



▼上p.109

▲上p.7



ゆきの名まえ

ふるゆき はつゆき・ぼたんゆき・こなゆき・ざらめゆき・どかゆき
ふったゆき しんせつ・ねゆき・あわゆき・まんねんゆき
ゆきがふるときの空 ゆき空・ゆきぐも・ゆきぐもり・ゆきかぜ・ゆきまよう

せいかつことば

あえて少し難しいことばも掲載することで、調べたり、想像することができます。

③ 地域も学習対象とした生活科活動を示しています。

地域の行事や暮らしの様子からも季節の変化を示しています。

上p.81▶



自分の住んでいる地域だけでなく、他の地域の様子を知ることができます。

Point

3

子どもにも先生にも生活科の学びが見える教科書

① 洗練された紙面表現で、見開きごとにここで何をすればよいのかがわかります。

課題文 このページで何をすればよいのかを端的なことばで示しています。子どもも先生も目的意識をもって活動に取り組むことができます。

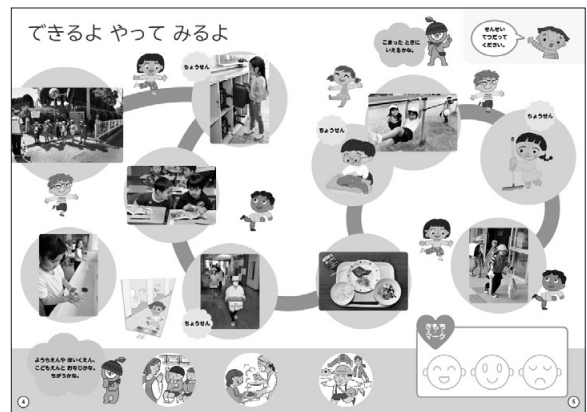
▼上p.20~21



本文 課題文を受けて、子どもから引き出したことばで整理しています。課題文と本文を合わせて見ることでここで何をすればよいのかが見えてきます。

② 入学式から最初の3日間を表したスタートカリキュラム対応ページを設けています。

一日の流れを知ることによって不安を減らし、仲間づくりで安心が生まれます。幼児期に身に付けた力が発揮できることで自信が付き、学校生活への意欲へつながります。



▲上p.4~5

流れのなかで学校生活に必要なきまりも自然と身に付けることができます。

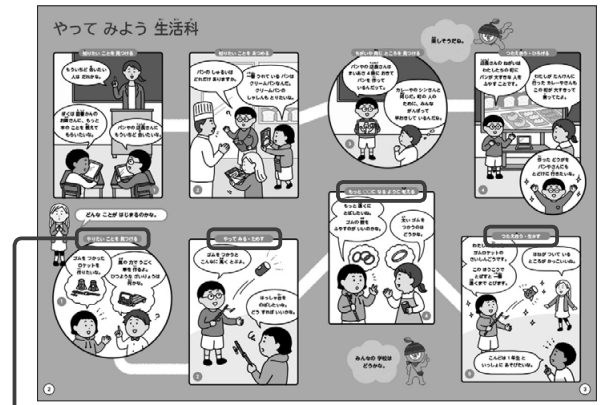
3 教科横断的な学びを意識するとともに、下巻では3年生以降の総合的な学習の流れを意識しています。

特に合科的・関連の指導が効果的と思われる場面には、そのつながりがわかるようマークを示しました。



▶▶ さんすう ▲上p.7

▼下p.2~3



やりたいことを見つける → やってみる・ためす →

もっと○○になるように考える → つたえ合う・生かす

生活科の学び方を示すなかで、低学年年りの探究のプロセスをわかりやすく表現しています。

Point

4 現代的な諸課題に対応した教科書

現代的な諸課題として、①持続可能な開発目標（SDGs）、②情報活用能力の育成、③幼保小の連携、④道德教育、⑤防災教育、⑥外国語（英語）教育について、専門家の監修を行っています。

●SDGs 継続した栽培活動から土のリサイクルを考え、子どもの意識に沿った無理のない導入でSDGsを扱います。知識としてだけでなく、生活科の活動と結び付けることで、子どもがより身近な問題としてSDGsについて考えることができます。



▲下p.48~49

関連する内容にマークを付けました。



■ SDGs

- 外国語（英語）教育 生活科の活動と関連する用語の紹介や、日本の文化とともに海外の文化を紹介しています。（下p.124~125ほか）
- 道德教育 挨拶やきまり、伝統・文化の尊重や国際理解、生命尊重など具体的な活動を通じて道德教育との関連を図りました。（上p.32ほか）
- 情報活用能力 タブレットの活用場面を多数示し、ウェブコンテンツも豊富に用意しています。

Point

5 特別支援教育に配慮した教科書

専門家監修のもと、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。

- UDフォントを使用 見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しました。また、小学校低学年の教科であることをふまえ、教科書体を採用しています。
- カラーユニバーサルデザイン 色覚の特性によらず情報が読み取れるよう、配色に配慮しています。
- 分かち書きや文節改行 文章の分かち書きや、読みやすい位置での改行をしています。



文章の分かち書きを行っています。

抗菌・抗ウイルス処理

この教科書は環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。表紙は、丈夫で汚れにくくなるよう加工し、光触媒を利用した抗菌・抗ウイルス処理をしています。

教科書の特色

教育基本法の遵守	●教育基本法第1条の「教育の目標」を実現するために、第2条の「教育の目標」の達成を目指して編修しました。
学習指導要領の遵守	●生活科の学習指導要領に記載された項目を全て取り上げました。
主体的・対話的で深い学びへの対応	●子どもの思いや願いをもとに子ども主体の活動が始まるよう、単元の導入を工夫しました。また、伝え合う場面を適切に配置し、気付きが共有化され、さらに次の活動、意欲が生まれ、体験活動・表現活動が自ずと繰り返されることで、気付きの質が高まり、深い学びに導くような流れを意識しました。
発達段階への配慮	●上巻を1年生、下巻を2年生と考え、2年間にわたって取り扱う飼育・栽培活動においては、季節の流れに沿って、子どもの発達段階に即した活動内容となるよう工夫しました。
知識及び技能の習得	●資料「がくしゅうどうくぼこ」において豊富な資料を掲載し、子どもが活動に即して基本的な知識や技能の習得が図れるよう配慮しました。
思考力・判断力・表現力等の育成	●書き込みスペースを多数設けました。考えたことを人に見せたり、繰り返し書き直すことで新しい発想に至ったり、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう配慮しました。(上 p.34、下 p.7ほか) ●ものを作る活動では、試したり、工夫したりする活動が自ずと生まれるよう、材料や道具のコーナーを作って、子どもの試行錯誤が生まれる教室環境を工夫しました。(上 p.136～137ほか) ●絵や文章だけでなく、動作化や劇化など多様な表現方法を例示しました。(上 p.72ほか)
学びに向かう力、人間性の涵養	●活動後の振り返りから、次の活動へつながる流れを意識しました。 ●町探検を経て見つけた町の人の魅力をきっかけに、自分のなかのよさにも目を向け、自己の成長を意識することができるよう工夫しました。(下 p.78～79)
幼保小の連携、中学年への接続	●上巻冒頭に、スタートカリキュラムに配慮したページを設けました。学校生活のたのしさを感じるとともに、不安を解消し、安心できる環境がつけられることを目指しています。生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的なカリキュラム編成が可能です。(上表2～p.7) ●下巻の最終単元では、これまでの成長を振り返るとともに、子どもが自信と意欲をもって、これからの自分、3年生以降の学習に臨めるような流れを意識しました。(下 p.92～113)
現代的な諸課題への対応	●現代的な諸課題として、①持続可能な開発目標 (SDGs)、②情報活用能力の育成、③幼保小の連携、④道徳教育、⑤防災教育、⑥外国語 (英語) 教育について、関連する活動に即して適宜取り上げました。
ICTの活用	●タブレットを使って活動中に記録を撮る、拡大して観察する、振り返る場面や発表時に電子黒板を使用するなど、生活科の活動をより深めるために ICT 機器を活用する場面を例示しました。(上 p.24、71、下 p.77、104ほか) ●無料のウェブコンテンツを多数用意し、対応するページに二次元コードを付しました。(上 p.6、下 p.12ほか)
道徳教育との関連	●具体的な活動のなかで、適切な挨拶や言葉遣いを考えたり、公共の場所では他者の存在やルールに気付けることができるようにしました。(上 p.23、46～47ほか) ●動植物との継続的な関わりを通して、生命を大切に、相手の立場になって考える等の心が育まれるよう配慮しました。 ●季節ごとの家庭や地域での行事を取り上げるなど、我が国の郷土や文化と生活に親しむことができるよう配慮しました。(上 p.80～81、104～105ほか)
他教科との関連	●他教科との関連が深いところには、関連がわかるようマークを付しました。(上 p.6～7ほか)
評価への対応	●各活動単位で学習カードや作品など、子どもの表現物を多数例示し、学習評価の参考になるよう配慮しました。
家庭・地域社会との連携	●学校のことを家庭で報告する場面を適宜設け、家庭との連携を図りました。(上 p.31、下 p.7ほか) ●小単元「かぞく だいすきだよ」では、笑顔を見つけることをきっかけに、家族のあたたかさや家庭における自分の役割に自然と気付くことができるような流れを工夫しました。(上 p.114～119) ●町探検など地域に出かける活動を通して、地域の人々との関わりが深まり、自分の住む町への愛着が育まれるよう意識しました。(下 p.56～79ほか)
安全への配慮	●活動に際して道具を使ったり、校外に出かけるような場面では、その都度安全について考えさせる投げかけをし、知識や技能の定着を図りました。(上 p.47、67ほか)
配列・分量	●季節に沿った大単元構成で、スムーズな学習展開を工夫しました。 ●各単元の学習は必要かつ十分なものを取り上げ、年間の授業時間内で活動ができるよう配慮しました。
特別支援教育、ユニバーサルデザインへの対応	●専門家の監修のもと、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫したりするなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。
印刷・製本	●環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。表紙は、丈夫で汚れにくくなるよう加工し、光触媒を利用した抗菌・抗ウイルス処理をしています。 ●製本は子どもにとって安全で、奥までよく開くアジロ綴じを採用しています。

Ⅱ 対照表

上巻 だいすき

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所ページ	配当時数
みんな なかよし	わくわく どきどきを みつけよう	(1)	16~17	2
	ともだちと なかよくなるう	(1)	18~21	4
	がっこうと なかよくなるう	(1) (4) (8)	22~31	9
	いきものと なかよくなるう	(1) (7)	32~33	1
	さいばい はなや やさい おおきく なってね	(7)	34~39	6
	つうがくろで みつけたよ	(3) (4) (5) (6)	42~49	6
なつと なかよし	さいばい はなや やさいが もっと おおきく なったよ	(5) (7)	52~55	2
	なつは おもしろい ことが いっぱい	(2) (3) (5) (6)	56~63	10
あき だいすき	むしと なかよくなるう	(2) (5) (7)	66~73	9
	さいばい たねや みになったね	(5) (7)	74~79	7
	あきを みつけよう	(3) (4)	80~89	5
	たのしいね あきの あそび	(5) (6)	92~95	8
	ようこそ あきの テーマパークへ	(5) (6) (8) (9)	96~99	6
ふゆ だいすき	きこえてきたよ ふゆの あしおと	(1) (3)	102~105	4
	さむく なっても あそぼうよ	(3) (5)	106~111	7
	かぞく だいすきだよ	(2) (8)	114~119	6
	もう すぐ 2年生	(1) (8) (9)	120~127	8
	きこえてきたよ はるの あしおと	(5)	128~129	2

合計 102

下巻 ひろがれ

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所ページ	配当時数
春 はっけん	わくわく 2年生の とびらを あけよう	(1) (8) (9)	6~11	5
	春と あそぼう	(3) (4) (5) (6)	12~17	3
	さいばい おいしく そだってね	(5) (7)	18~23	6
	春の 町をさんぽしよう	(3) (4) (5) (8)	24~29	10
生きものはっけん	見つけた! 生きものの ひみつ	(3) (5) (7)	32~41	8
	雨あがりにも 見つけたよ	(2) (5) (8)	42~43	1
	さいばい 大きく おいしく そだつ ひみつ はっけん	(1) (5) (7) (8)	44~47	4
	わくわく どきどき 夏休み	(1) (2) (3) (5)	52~55	4
わたしの 町 はっけん	町の キラリを 見つけに 行こう	(3) (4) (5)	58~65	10
	町の キラリを あつめよう	(3) (4) (5)	66~71	8
町の キラリ ひろがれ	町の キラリを ひろげたい	(3) (4) (8) (9)	74~79	11
楽しさ ひろがれ わたしのおもちゃ	作ってみたい おもちゃが いっぱい	(6)	82~83	2
	自分だけの おもちゃを作ろう	(6)	84~87	4
	わくわくランド かいてん	(6) (8)	88~89	2
わたし ひろがれ	見つけよう 自分の すてき みんなの すてき	(1) (2) (9)	94~97	3
	小さかった ころの 自分に 会いに 行こう	(1) (2) (3) (8) (9)	98~101	7
	自分 ひろがれ はっぴょう会	(1) (2) (3) (8) (9)	102~105	7
	ありがとうを とどけよう	(1) (2) (3) (8) (9)	106~109	4
	みらいに むかって しゅっぱつ	(9)	110~113	4

合計 103 (予備時数2)

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-219	小学校	生活	生活	1・2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4・大日本	生活・119 120	新版 たのしいせいかつ 上 だいすき 下 ひろがれ		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
上111	かげの むきが かわるんだね。	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容 (5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。 ● 内容の取扱い (3) 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるようにするため、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行うようにすること。 	0.25
下16	くもりの日には タンポポはどう なっているかな。	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容 (5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。 ● 内容の取扱い (3) 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるようにするため、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行うようにすること。 	0.25
下48-51	やってみよう 生活科	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容 (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。 	4
下120	むきには 名前が ついているね お昼に かげの方を むいて 立ってみよう。	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容の取扱い (6) 生活上必要な習慣や技能の指導については、人、社会、自然及び自分自身に関わる学習活動の展開に即して行うようにすること。 	0.25
下 124- 125	がくしゅうどうぐばこ 6 せかいの なかま	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容の取扱い (5) 具体的な活動や体験を行うに当たっては、身近な幼児や高齢者、障害のある児童生徒などの多様な人々と触れ合うことができるようにすること。 	2

合計 6.75

(「類型」欄の分類について)

1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、

当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容

2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容